

外来

外来の特徴

佐賀市中部を主として、南部全般及び東部・北部の一部から来られる患者さんを対象に急性期医療の外来を担っています。政策医療であるがん・成育医療を中心に、地域に密着した医療・看護の提供に努めています。昨今、がんに対する治療では化学療法が外来で行われることが多く、当院では月平均 46 件の化学療法を行っています。化学療法室では治療を安全・安楽に受けられるような環境を整えています。

内科外来では肝臓・消化器疾患・呼吸器疾患・内分泌代謝疾患を専門とし、肝炎コーディネーターや糖尿病療養指導士が患者さんの生活指導等を行っています。また、外来には糖尿病療養指導士が 2 名在籍しており、透析予防やフットケアを行い、腎症各期における療養指導、および足病変の予防に努めています。

内視鏡では、各種処置を含め年間 2,230 件の内視鏡を行っています。ERCP や止血術などの緊急内視鏡においては 24 時間 365 日対応しています。

救急外来では、2.5 次救急病院の役割を担い、年間 2800 台に近い救急車を受け入れ、断らない医療をモットーに患者対応を行っています。



リラックスできる化学療法室



フットケアの様子



内視鏡室と緊急内視鏡の様子